



電話情報とディスプレイ設定

- [電話機の情報およびディスプレイ設定, on page 1](#)
- [電話機の名前を設定する, on page 1](#)
- [スタートアップ画面のカスタマイズ \(2 ページ\)](#)
- [電話ディスプレイの壁紙をカスタマイズする \(4 ページ\)](#)
- [電話機のウェブインターフェースによるスクリーンセーバーの設定 \(5 ページ\)](#)
- [電話機のウェブインターフェースからバックライトタイマーを調整します \(10 ページ\)](#)
- [製品構成バージョンのカスタマイズ \(11 ページ\)](#)
- [アクティブコールへのフォーカスを維持 \(11 ページ\)](#)
- [ヘッドセットインベントリのレポート \(12 ページ\)](#)

電話機の情報およびディスプレイ設定

電話機の Web ユーザインターフェースを使って、電話機の名前、背景の画像、ロゴ、スクリーンセーバーなどの設定をカスタマイズできます。

電話機の名前を設定する

Before you begin

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェースへのアクセス](#)を参照してください。

Procedure

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 [全般 (General)] の下で、[ステーション表示名 (Station Display Name)] または [ステーション名 (Station Name)] フィールドに電話機の名前を入力します。

Note 電話機で両方の名前を設定する場合、電話機には[ステーション表示名 (Station Display Name)]のみ表示されます。

XMPPを有効にし、[最優先のXMPPユーザーIDの表示 (Display XMPP User ID With Top Priority)]を[はい (Yes)]に設定すると、XMPPユーザーIDが設定されている名前を上書きします。

電話画面に表示される優先順位のシーケンスは次のとおりです。

[XMPPユーザーID (XMPP user ID)] > [ステーション表示名 (Station Display Name)] > [ステーション名 (Station Name)]。

この名前は電話機の画面に表示されます。次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Station_Display_Name ua="na">Recetion Desk</Station_Display_Name>
<Station_Name ua="na">Recetion Desk</Station_Name>
```

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

スタートアップ画面のカスタマイズ

Cisco IP 電話の起動時に表示するテキストまたはイメージのロゴを作成できます。ロゴは、シスコのロゴが表示された後の短いブートシーケンス中に表示されます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ1 音声 > ユーザをクリックします。

ステップ2 [画面 (Screen)] セクションで、[ブート表示 (Boot Display)] フィールドからオプションを選択します。

- [デフォルト (Default)] : スタートアップ画面に空白の画面または既存の画面を表示します。
- [ダウンロード画像 (Download Picture)] : スタートアップ画面に画像を表示します。 [画像ダウンロードURL (Picture Download URL)] フィールドにパスを入力します。
- [ロゴ (Logo)] : スタートアップ画面にロゴを表示します。 **ロゴURL** フィールドにパスを入力します。
- [テキスト (Text)] : スタートアップ画面にテキストを表示します。 [テキスト表示 (Display)] フィールドにテキストを入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Boot_Display ua="na">Logo</Boot_Display>
```

有効値は、デフォルト |画像のダウンロード|Logo|テキストです。デフォルトのオプションはデフォルトです。

ステップ 3 画像またはロゴを表示するには、**画像のダウンロードURL** または **ロゴのURL** フィールドにパスを入力します。

次に例を示します。

```
http://10.64.84.147/pictures/image04.png
```

間違ったURLを入力して画像をダウンロードすると、電話機は新しい画像へのアップグレードに失敗し、既存の画像を表示します。電話機にダウンロードされた画像がない場合は、グレーの画面が表示されます。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。電話機には固定表示領域があります。そのため、元のロゴサイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。Cisco IP 電話 8800 シリーズでは、ロゴ表示領域は電話機の画面の中央です。Cisco IP 電話 8800 シリーズの表示領域のサイズは 128 X 128 です。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Picture_Download_URL  
ua="na">http://10.64.84.147/pictures/bootimage1.jpg</Picture_Download_URL>  
<Logo_URL ua="na">http://10.64.84.147/pictures/logo_image.jpg</Logo_URL>
```

ステップ 4 起動時にテキストを表示するには、以下の要件に従って**テキスト表示**フィールドに表示するテキストを入力します。

- 各行に 32 文字未満の最大 2 行のテキストを入力します。
- 2 行の間に改行文字 (\n) とエスケープコード (%0a) を挿入します。

たとえば、

```
Super\n%0aTelecom
```

次の内容が表示されます。

```
Super  
Telecom
```

- 書式設定用のスペースを追加するには、+ 記号を使用します。テキストの前後に複数の + 文字を追加して、テキストを中央に配置することができます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Text_Display ua="na">Super\n%0aTelecom</Text_Display>
```

ステップ 5 **Submit All Changes** をクリックします。

電話機は再起動し、画像ファイルを取得して、次回の起動時に画像、ロゴ、またはテキストを表示します。

電話ディスプレイの壁紙をカスタマイズする

電話機の画面に背景としてカスタムロゴまたは画像を表示するように電話機を設定できます。

手順

ステップ1 電話機のウェブページで、**音声 > ユーザ** を選択する。

ユーザは、電話機のウェブインターフェイスで壁紙を変更することもできます。

ステップ2 画面 セクションで、**電話機の背景** フィールドのいずれかのオプションを選択します。

- **[デフォルト]**：システムのデフォルトの背景を維持します。
- **画像ダウンロード**—TFTP、FTP、または HTTPS サーバからダウンロードした画像が表示されます。このオプションを選択する場合は、**画像ダウンロード URL** フィールドに画像の URL を入力します。
- **Logo**—TFTP、FTP、または HTTPS サーバからダウンロードしたロゴを表示します。このオプションを選択する場合は、**ロゴのURL** フィールドにロゴの画像の URL を入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Phone_Background ua="na">Logo</Phone_Background>
```

ステップ3 カスタム壁紙を TFTP、HTTP、または HTTPS サーバにアップロードします。

画像は .jpg ファイルまたは .png ファイルです。推奨サイズは 800 X 480 ピクセルです。画像が推奨サイズではない場合でもユーザはアップロードできますが、画面に合わせてサイズが変更されます。

ステップ4 **Picture Download URL** フィールドに、壁紙画像がアップロードされているパスを入力します。

URL には、TFTP、HTTP、または HTTPS サーバ名（または IP アドレス）、ディレクトリ、およびファイル名を含める必要があります。URL の 255 文字を超えないようにします。

例：

```
http://10.64.84.147/pictures/image04.jpg
```

新しい壁紙をダウンロードするために正しくない URL を入力すると、電話は新しい壁紙にアップグレードすることができず、既存のダウンロードされた壁紙を表示します。電話機にダウンロード済みの壁紙がない場合は、グレーの画面が表示されます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Picture_Download_URL  
ua="na">http://10.64.84.147/pictures/image04.jpg</Picture_Download_URL>
```

ステップ 5 TFTP、HTTP、または HTTPS サーバにロゴ画像をアップロードします。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。電話機には固定表示領域があります。そのため、元のロゴサイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。Cisco IP 電話 8800 シリーズでは、ロゴ表示領域は電話機の画面の中央です。Cisco IP 電話 8800 シリーズの表示領域のサイズは 128 X 128 です。

ステップ 6 ロゴの URL フィールドに、ロゴの画像がアップロードされている場所のパスを入力します。

URL には、TFTP、HTTP、または HTTPS サーバ名（または IP アドレス）、ディレクトリ、およびファイル名を含める必要があります。URL の 255 文字を超えないようにします。

例：

```
http://10.64.84.147/pictures/logo_image.jpg
```

間違った URL を入力して新しいロゴをダウンロードすると、電話機は新しいロゴへのアップグレードに失敗し、既存のダウンロードしたロゴが表示されます。電話機にダウンロードされた画像がない場合は、グレーの画面が表示されます。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Logo_URL ua="na">http://10.64.84.147/pictures/logo_image.jpg</Logo_URL>
```

ステップ 7 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

背景画像の URL を変更すると、電話機が再起動します。

電話機のウェブインターフェースによるスクリーンセーバーの設定

電話機のスクリーンセーバーを設定できます。電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。

ボタンを押すと、電話機が通常モードに戻ります。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[スクリーンセーバーのパラメータ \(6 ページ\)](#) の文字列のシンタックスを参照してください。

始める前に

電話管理のウェブインターフェイスにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

- ステップ 1** 電話機のウェブページで、**[音声 (Voice)]** > **[ユーザ (User)]** を選択する。
- ユーザは **[ユーザ ログイン (User Login)]** > **[音声 (Voice)]** > **[ユーザ (User)]** を選択して電話機にスクリーンセーバーを追加できます。
- ステップ 2** **Screen** セクションで、[スクリーンセーバーのパラメータ \(6 ページ\)](#) の説明に従ってフィールドを設定します。
- ステップ 3** **[すべての変更の送信 (Submit All Changes)]** をクリックします。
-

スクリーンセーバーのパラメータ

次の表で、電話 Web インターフェイスの **[音声 (Voice)]** > **[ユーザー (User)]** タブの下にある **[画面 (Screen)]** セクションのスクリーンセーバーのパラメータの機能と使い方を定義します。パラメータを設定する XML コードで電話機設定ファイル (cfg.xml) に追加された文字列の構文も定義されています。

表 1:スクリーンセーバーのパラメータ

パラメータ	説明
Screen Server Enable	<p>電話機でスクリーンセーバーを有効にするには、Yesを選択します。電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Screen_Saver_Enable ua="rw">Yes</Screen_Saver_Enable</pre>• 電話機のウェブインターフェイスで、スクリーンセーバーを有効にするには、このフィールドを[はい (Yes)]に設定します。 <p>有効値: はい (Yes) いいえ (No) デフォルト: [いいえ (No)]</p>

パラメータ	説明
Screen saver type	<p>スクリーンセーバーの種類。次のオプションを選択できます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Clock：単色背景にデジタル時計を表示します。 • Download Picture：電話機の Web ページから取得された画像を表示します。 画像ダウンロードURL フィールドに画像パスを入力します。 • Logo：電話画面にロゴを表示します。 Logo URL フィールドでロゴ画像を追加します。 <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre data-bbox="993 957 1417 1010"><Screen_Saver_Type ua="rw">Clock</Screen_Saver_Type></pre> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機のウェブインターフェイスで、スクリーンセーバーを選択します。 <p>有効値：クロック 画像のダウンロード ロゴ デフォルト：クロック</p>
Screen Saver Wait	<p>スクリーンセーバーが表示されるまでのアイドル時間の長さです。</p> <p>スクリーンセーバーが開始されるまでのアイドル時間の秒数を入力します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre data-bbox="993 1602 1390 1654"><Screen_Saver_Wait ua="rw">300</Screen_Saver_Wait></pre> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機のウェブインターフェイスで、時間を秒単位で設定します。 <p>有効値：30～65000 の整数 デフォルト：300</p>

パラメータ	説明
Picture Download URL	<p>電話画面の背景に表示する (.png) ファイルを示す URL です。画像は、電話機の背景、スクリーンセーバーとして表示されるか、起動時に [電話機の背景 (Phone Background)]、[スクリーンセーバーのタイプ (Screen Saver Type)]、または [ディスプレイの起動 (Boot Display)] フィールドの設定に応じて表示されます。</p> <p>間違った URL を入力して新しい画像をダウンロードすると、電話機は新しい画像への更新に失敗し、既存のダウンロードされた画像を表示します。電話機にダウンロードされた画像がない場合は、グレーの画面が表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre data-bbox="1031 1010 1533 1056"><Picture_Download_URL ua="hw">http://10.74.3.52/images/screensaver1.png</Picture_Download_URL></pre> <ul style="list-style-type: none"> • 電話機のウェブインターフェイスで、写真が保存されている URL を指定します。 <p>有効値: 255 文字を超えない有効な URL デフォルト: 空</p>

パラメータ	説明
Logo URL	<p>ロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。ロゴの画像は、スクリーンセーバータイプ、起動ディスプレイ、または電話機の背景フィールドの設定に応じて、画面の背景、スクリーンセーバーとして、または起動時の起動時に表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Logo_URL ua="rw">http://10.74.3.52/images/Logo1.png</Logo_URL></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、ロゴの画像が保存されている URL を指定します。 <p>有効値: 255 文字を超えない有効な URL デフォルト: 空</p>

電話機のウェブインターフェイスからバックライトタイマーを調整します

あらかじめ設定した時間に各電話機のバックライトを無効にすることで、省エネできます。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。

ステップ 2 Screen セクションで、**Back Light Timer** パラメータの期間を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Back_Light_Timer ua="rw">30s</Back_Light_Timer>
```

有効値は 1m | 5m | 30m | 常にオンです。デフォルト値は 5 分です。

ステップ 3 **Display Brightness** フィールドで、目的の明るさを指定する 4 ~ 15 の整数を入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Display_Brightness ua="rw">15</Display_Brightness>
```

許容値は、4～15の整数です。値を大きくすると、画面の表示が明るくなります。デフォルト値は15です。

ステップ4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

製品構成バージョンのカスタマイズ

電話機の設定ファイル (cfg.xml) で、製品の設定バージョンをカスタマイズできます。変更を有効にした後、ユーザーは電話機に製品情報の設定バージョンを表示できます。

手順

ステップ1 電話設定ファイル (cfg.xml) をテキストまたはXMLエディターで編集します。

ステップ2 cfg.xml ファイル内の要素 <Device_Config_Version> 値を追加します。

次に例を示します。

```
<Device_Config_Version ua="na">2021-01-05-v1</Device_Config_Version>
```

デフォルト：空

有効値の範囲: 0～64文字

タグがcfg.xmlファイルに存在しないか、パラメータ値が空の場合、設定バージョンのメニュー項目は電話画面の**製品情報**に表示されません。

(注) 割り当てられた文字の長さが電話画面の幅を超えると、超過した文字は切り捨てられ、電話画面で省略記号 (...) として表されます。

ステップ3 変更内容をcfg.xmlファイルに保存します。

アクティブコールへのフォーカスを維持

ユーザーが着信コールを受信した場合に、アクティブコールにフォーカスが合っている状態が続く状態を確保するために電話機を設定できます。

デフォルトでは、電話画面のフォーカスがアクティブコールから着信コールに自動的に移動します。ただし、電話機を設定すると、ユーザーが着信コールを持っている場合でも、アクティブコールに常にフォーカスが合っている状態が維持されます。

フォーカスは、次の状況では着信コールに移動します。

- ユーザーがアクティブコールを保留にした後、1つ以上の着信コールを受信すると、フォーカスは自動的に最初の着信コールに移動します。

- ユーザーがアクティブコール中に1つ以上の着信コールを受信し、アクティブコールを保留にした場合、フォーカスは自動的に最初の着信コールに移動します。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 **Voice > User** を選択します。

ステップ 2 **[補足サービス]** セクションで、**[アクティブコールにフォーカスを維持]** を **[はい]** に設定します。

このパラメータは、設定ファイルでも設定できます。

```
<Keep_Focus_On_Active_Call ua="na">Yes</Keep_Focus_On_Active_Call>
```

有効値: はい (Yes) といいえ (No)

デフォルト: [いいえ (No)]

ステップ 3 **[すべての変更の送信 (Submit All Changes)]** をクリックします。

ヘッドセットインベントリのレポート

電話機を設定して、サーバに接続または接続されていない周辺情報をレポートできます。 Cisco IP 電話マルチプラットフォームフォンでサポートされる周辺機器は、キー拡張モジュール (KEM) と Cisco ヘッドセットです。

サポートされている Cisco ヘッドセットは、Cisco ヘッドセット 500 シリーズと Cisco ヘッドセット 700 シリーズです。

始める前に

- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 **[音声 (Voice)] > [SIP]** を選択します。

ステップ 2 **[周辺機器 (Peripheral)]** セクションで、**[周辺機器インベントリの有効化 (Peripheral Inventory Enable)]** パラメータを **[はい (Yes)]** に設定します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル(cfg.xml)でこのパラメータを設定することができます。

```
<Peripheral_Inventory_Enable ua="na">No</Peripheral_Inventory_Enable>
```

このパラメータを[はい (Yes)]に設定すると、周辺機器インベントリのヘッダーが SIP Register メッセージに含まれます。[いいえ (No)]に設定すると、ヘッダーは SIP メッセージに含まれません。パラメータのデフォルト値は[いいえ (No)]です。

1つの周辺機器が電話機に接続または切断されると、次にスケジュールされた Register が周辺機器データのヘッダーで周辺機器情報を提供します。後続のすべての Register では、周辺情報が処理されるという問題が発生します。周辺機器データのヘッダーは、各周辺機器に含まれています。たとえば、ヘッドセットが2つある場合、ヘッダーは2回表示されます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。
